

マウイ島の住民たちが自分の車の中で焼き殺される：

道路はバリケードされ逃げ場がなかった

<https://www.infowars.com/posts/report-maui-residents-burned-to-death-in-their-cars-because-of-barricades-blocking-escape/>

Steve Watson/ Infowars

August 24, 2023

⇒迂回せよという命令に従った人々は殺された。

水曜日の AP 通信によれば、マウイ島の Lahaina の住民たちは、送電線が倒れた後に張られたバリケードによって、恐ろしい火災から逃げられなかった。

この報告には、人々が逃げようとする係り員たちに引き戻され、その結果、数人が道路の真ん中で自分の車の中で、生きたまま焼かれるとう、ショッキングな詳細が明かにされている。

報告によると、ある人たちは命令に応じず、バリケードをくぐり抜けてドライブし続け、脱出して生き残ることができたという：――

「ある家族はバリケードをくぐり抜けて進行し、48分後に近くの町に無事到着した。別の人は、4輪駆動車で未舗装道路を走って脱出した。また別の男性は、火を避けながら未舗装道路を駆け登り、ラハイナの燃えるのを見下ろした。彼は後に、炎と煙と瓦礫の間を通り抜けて、生き残った人々を安全な場所に届けた。

「しかし何ダースもの他の人々は、地獄の脱出網に捕まり、車は狭い道路に次々と詰め寄せられ、3方を炎に囲まれ、1方向だけが切り立った岩の海に出た。ある人々は車の中で死に、他の人々は安全を求めて駆け下りようとした。」

生き残ったある人は、もし彼女が迂回せよという命令に従っていたら、彼女と子どもたちは生きたまま焼け死ぬところだった、と言った：――

「沢山の車が立ち往生したままで、今にも炎の嵐に追いつかれるところでした」と、Cuevas-Reyes、38歳は言った。「私は子どもたちに、海に飛び込んで生きたまま、炎に

茹でられるか、それとも煙を吸って死に、車の中で焼き肉になるかしかないと、まさに言おうとしたのです。」

焼けた車の光景を見ると本当にゾッとするが、この最新のアップデートが現れた時点で、政府のサイレンはまだ鳴っておらず、彼らは、事態が深刻であることを住民に警告していなかった。

住民の Nate Baird は AP に「我々はあと 10 分ほど時間があればよかったのだ。そうすれば沢山の子どもたちが助かったのだ」と言い、「ほんの 10 から 15 分前に警告されていればなあ」と嘆息した。

一方、FEMA（米連邦緊急事態管理庁）の役人たちは、彼らが大失態を犯した恐るべき災害の真ただ中で、マウイ島の 5 つ星ビーチ・リゾートに宿泊していた。

現在のところ、いまだに、約 1,110 人の人々が行方不明になっている。

[デیلیメール](#)によれば、FBI の調査官たちが、これまでに発見されて、今週にも発表されられると思われる人々の名簿を、編集しているという。

<http://www.dailymail.co.uk/news/article-12435531/Maui-INCREASES-number-missing-people-1-100-following-Lahaina-firestorm-850-says-FBI-release-list-unaccounted-week.html>

ジョー・バイデンのこの大災害に対する反応は、ジョークを飛ばし、彼自身のことなのに 2 週間も無視するというもので、これは言語道断といより言葉がない。

関連時事：「Gingrich 談：バイデンのマウイでの振舞いは〈恐ろしいと言うより言いようがない〉」 <https://summit.news/2023/08/23/gingrich-bidens-behaviour-in-maui-was-just-plain-frightening/>

マウイ大火：FEMA は、これに反応して写真やビデオを投稿すること禁止

<https://www.infowars.com/posts/maui-fire-fema-demanded-responders-stop-posting-images-and-videos/>

Steve Watson/ Infowars

August 25, 2023

FEMA は、マウイ大火に最初に反応したり、援助を申し出たりする人に手紙を送り、焼け焦げた災害領域の写真やビデオを、社会メディアに投稿することを禁止し、これを「文化的に敏感な」問題だと言っている。

「彼らはこの災害の写真記録が出回ることを、全面的に禁止しようとしている」と、FEMA の Justin Angel Knighten の手紙は言い、地方の役人たちに言及した。

「この時点で我々は、どんな写真もビデオも隠すように要請されてはいない。我々現場のチームは、更なる指導のために郡と連絡して、十分な協力態勢を確保しようとしている。文化的な敏感さは、我々の災害への反応と復興活動すべてにおいて、何より重要なことだ」と、この手紙は更に述べている。

このような事態が明らかになって、地方と連合政府両方の反応について、更なる問題が引き起こされた。

この大火災に対して責任のある緊急事態関連の役人たちは、火が燃え上がったときに、この島にさえおらず、5 時間もの間それを知らされなかった。その理由は彼らが、隣のオアフ島で、FEMA の災害準備態勢の集会に出席していたためだった。

昨日我々が指摘したように、AP 通信の水曜日の報道では、ラハイナの住民たちが恐ろしい火災から逃げるができなかったのは、送電線が倒れて、工事の人たちがそれを修復しようとしてバリケードを築いていたからだった。<https://apnews.com/article/hawaii-fires-timeline-maui-lahaina-road-block-c8522222f6de587bd14b2da0020c40e9>

関連記事：「マウイの住民たちが自分の車の中で焼け死んだのは、バリケードに脱出を阻まれたから」<https://summit.news/2023/08/24/report-maui-residents-burned-to-death-in-their-cars-because-of-barricades-blocking-escape/>

これについては、電線自体が火事の原因だった可能性があり、あるビデオには、電線が吹き倒されて引火の火花を放っている様子が見える。

多数の訴訟がすでに「ハワイ電力」に対して起こされており、特に郡が、電線の電流を切らなかつた会社の責任を訴えている。

https://apnews.com/article/maui-hawaii-wildfires-electric-utility-c3513c2f8e451df6dab2e59a6c2f670d?taid=64e7c5c1616aa9000177c9fb&utm_campaign=TrueAnthem&utm_medium=AP&utm_source=Twitter

APによると、

「訴状は、公益事業者の義務は〈電線を正しく管理し修繕することで、また電線に関係する公益事業が電柱を設置し、樹木を正しく刈り込んで、頭上の電線や他の電気設備と接触しないようにすることもそこに含まれる〉と言っている。

「公益事業者は、強い風が吹けば、〈電柱が倒され、送電線を故障させ、樹木に火がつく〉ことを知っていたはずだ」と訴状は言っている。「被告たちはまた、もし彼らの頭上の電気装置が発火するならば、危険なほど速く火が回ることを知っていたはずだ。」

さらなる報告が、ハワイ電力は、火災現場から証拠を撤去したかもしれないと言っている。

<https://nypost.com/2023/08/24/hawaiian-electric-removed-evidence-from-scene-of-blaze-report/>

関連ビデオ (SOTN) : 「ハワイのホロコーストが自らを暴露」

<https://www.addtoany.com/share?url=http%3A%2F%2Fstateofthenation.co%2F%3Fp%3D182693&title=THE%20HAWAIIAN%20HOLOCAUST%20EXPOSES%20ITSELF>

【訳者 Greatchain 注】

これが自然に起こった山火事でなく、悪魔的な意図によるものでしかないことは、ここに報告されたあらゆる証言やビデオから明らかである。こんな「山火事」が自然に起こることはない。SOTN は、これは特に子供を狙ったもので、呪術的な数字 8 月 8 日に合わせられていると言っている。

カリフォルニアの同じような惨事を見ている人は、見覚えのある地獄の景色に気づかれたであろう。カリフォルニアでは特殊な高熱によって、車の金属が溶けて流れ出したり、樹木が外側からでなく内側から焼けるので、そこには雪洞のような不思議な光景が見られた。それと同じかどうかはわからないが、全体の様子が似ている。

RT には、「マウイ山火事の原因がほぼ判明した」という、AP 通信の推定説が出ている。これは圧力がかかって、本当のことが言えなくなったのではなかろうか？ 記事は、強

風と「時代遅れ」の電力会社のインフラが重なった事故だとしているが、時代遅れ (obsolete, outdated) をこんなに強調するのはなぜだろうか？ むしろ時代遅れでないからこそ、これだけ短時間のうちに、逃げる暇とスペースもないほどの、大火災が起こせたのではないだろうか？

しかし何の得にもならないこんな大胆なことを、いったい誰がやっているのだろうか？ これは、トランプ前大統領が言っていたことが当たっている——**恐怖のメッセージを送りつけてくる者がいるのである**。それは無言であり、下手人が誰かわからないようになっている。どんなやり方で、誰に送りつけてくるかもわからない。盟友だとか同僚だとかに関係のない、吊るされたカラスの死骸のような、無言の圧力をかけてくる。わが安倍元首相の暗殺も、陸自ヘリへ墜落事件も、そういうものとして解釈できる——「我々はこういうこともできるのだ、覚えておけ」。